

おめでとう！

エイジレスライフ実践者受賞

内閣府では、年齢にとらわれず自由で生き生きと生活し、社会参加活動を実践されている高齢者(エイジレスライフ実践者)を広く紹介する事業を行っています。

本年度、その実践者に県内でただ一人、岡田一枝さん(おかたいち)が選ばれ表彰されました。

岡田さんは、教員退職後、はたのり機織サークルを立ち上げ、市のパソコン講習会のアシスタントや公民館講座の講師、また社会教育委員なども務め、市文化協会会長としても、市民の文化意識の向上、発展のために精力的に活動しています。

県庁で行われた授賞式で岡田さんは、「今後は、地元で根付いた活動を進め、今まで学んだことを地域に還元できればと思っています。『エイジレスライフ実践者』に選ばれた私の活動が、これからのシニアライフのめざす方向性の一つのものになれば幸いです。」と話していました。



県庁で表彰を受けた岡田さん(手前)

市役所を探検だ

板橋小学校2年生が伊奈庁舎を見学し

10月3日、板橋小学校2年生の児童が、市役所伊奈庁舎を見学を訪れました。

これは生活科学習の一環で、市内施設には「どんなものがあるのか」「働いている人の様子は」などをみんなで探検し、協力しながら楽しく調べ、理解を深めることを目的に実施されています。

当日は、市役所のほかに図書館や給食センターな



ここは、何をするとところだろう？

どの施設をグループ別に見学し、後日授業で発表会を行うそうです。

掘れたよ！「さつまいも」

収穫体験 さつまいも掘り大会開催

10月11日、市内小島新田地区で、「消費者に収穫の喜びを味わってもらい、農業への理解と交流を深めてもらう」ことを目的に、市谷和原地域女性連絡協

議会主催のさつまいも掘り大会が開催されました。

当日は、雨模様のあいにくの天候でしたが、子どもづれの家族をはじめ約600人の参加者からは、掘り出したさつまいもに大きな歓声があがっていました。



大きなおいもがとれたよ

また、会場では新米のおにぎり試食や温かい豚汁のサービスなど、おいしいものが盛りだくさんで、収穫の秋、食欲の秋を満喫していました。

「ホンジュラス」へ赴任

シニア海外ボランティア

市内にお住まいの福傳美知子さんが、独立行政法人国際協力機構(JICA)シニア海外ボランティア(養護指導)として中央アメリカ中部に位置するホンジュラス共和国に派遣されることになり、出発のあいさつのため市を表敬訪問されました。

福傳さんは、以前にも養護指導として海外ボランティア活動を経験しており、「せっかく覚えたスペイン語を役立てることができ、日本の進んだ特殊教育技術を伝えることができると、体力の続く限り頑張りたい。」と、再び海外ボランティアに行く決心をしたそうです。体に気をつけて、頑張ってください。



小林副市長より激励を受ける福傳さん(右)